2024年7月26日

各　位

会　社　名　株式会社プラスアルファ・コンサルティング
代 表 者 名　代表取締役社長　　三　室　克　哉
（コード番号：4071 東証プライム）
問 合 せ 先　取締役 コーポレート部門担当　　野　口　祥　吾
（TEL. 03-6432-0427）

統合型スクールマネジメントシステム「ヨリソル」

AIを活用した不登校予兆検知機能の提供開始

～深刻化する不登校問題解決と教職員の業務負担軽減を目的とした機能と

コンサルティングを提供～

当社は、本質的な教育データ利活用・教育DXの実現及び教職員の業務負担軽減をご支援すべく、「ヨリソル」にAIを活用した不登校予兆検知機能とコンサルティングサービスの提供を開始することをお知らせいたします。

【添付資料】プレスリリース：
統合型スクールマネジメントシステム「ヨリソル」
AIを活用した不登校予兆検知機能の提供開始
～深刻化する不登校問題解決と教職員の業務負担軽減を目的とした機能とコンサルティングを提供～

以　上

Press Release

報道関係各位

2024 年 7 月 26 日

株式会社プラスアルファ・コンサルティング

統合型スクールマネジメントシステム「ヨリソル」AI を活用した不登校予兆検知機能の提供開始

～深刻化する不登校問題解決と教職員の業務負担軽減を目的とした機能とコンサルティングを提供～

株式会社プラスアルファ・コンサルティング（本社：東京都港区、代表取締役社長：三室 克哉、証券コード：4071）は、本質的な教育データ利活用・教育 DX の実現及び教職員の業務負担軽減をご支援すべく、「ヨリソル」に AI を活用した不登校予兆検知機能とコンサルティングサービスの提供を開始することをお知らせいたします。



■ AI 不登校予兆検知機能搭載の背景と目的

2022 年度の全国の小中学校における不登校児童生徒数は、過去最多の約 29.9 万人に達し、深刻化する不登校問題に対し、文部科学省は「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）」を発表しました。COCOLO プランでは、不登校児童生徒の学びの場

の確保や、心の小さな SOS の早期発見、情報発信の強化などを掲げています。

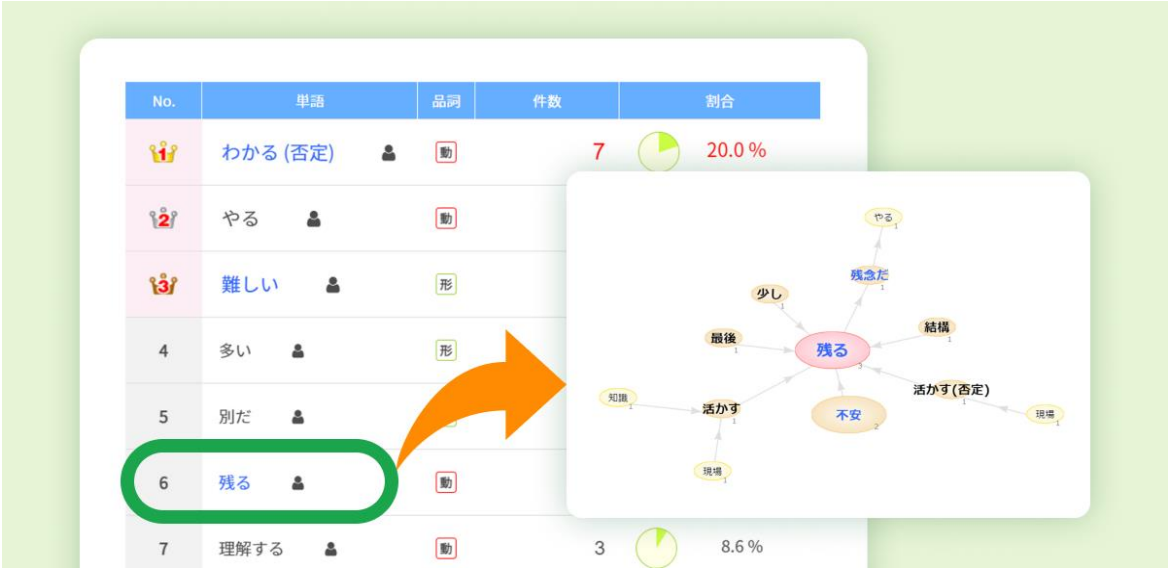
　このような状況の中、教育現場では、ICT システムを導入し、児童生徒一人ひとりの状況を把握し、きめ細かい対応を推進することが求められています。

　統合型スクールマネジメントシステム「ヨリソル」は、従来の教育データの管理・分析といった教育ダッシュボードに加え、新たに AI を活用した不登校予兆検知機能を提供開始しました。これにより、システムの乱立やデータの散在課題を解消するだけでなく、不登校児童生徒の傾向もダッシュボード化し、さらには不登校予兆発見後の学校側の対応状況をモニタリング、対応レコメンドすることが可能となります。

■発言傾向による不登校スコアリングのイメージ

No	メンバ	不登校スコア	使用したワード	文章
1	 伊藤悠太	164.7	オンライン授業、多い、コミュニケーション	オンライン授業が多く、コミュニケーションが取りづらい。まだ入学したばかりなので、相談できる友達がいないが、ぜミが始まり先生に相談が気軽にできるようになったら解決できる気がする。
2	 合田慎次	156.2	オンライン授業、課題、多い、終わる（否定）	オンライン授業は課題が多く、その場で提出ができないと後々手が回らなくなる。
3	 江上永子	100.8	オンライン授業、わかる（否定）	オンライン授業ではわからないことを聞きづらい。 学習内容に満足はしていますが、集団授業でも対面を増やしてほしい。
4	 佐藤孝	69.3	オンライン授業、生活リズム	オンライン授業で生活リズムを崩しやすい。 仕方ないですが、学食等でお昼を済ますことができず、毎日コンビニ等で買っているので食費もかさみます。
5	 鈴木貫治	58.7	オンライン授業、相談できる（否定）、多い	一人で授業を受けている授業が多いので、オンライン授業だと近くの人に相談等ができない。家のネットワーク環境が悪く、話している内容が聞きづらいことも多い。

■不登校児童生徒の発言内容分析イメージ



■ ヨリソルにおける AI を活用した不登校予兆検知機能の概要

１． 多様なデータの統合と可視化

ヨリソルでは、外部システムとの連携に加え、Excel や PDF、紙ベースのデータ、さらには保護者からの問い合わせ履歴、教職員の人事情報や指導履歴まで、子どもたちの可視化に必要なあらゆるデータを統合することができます。過去不登校になってしまった不登校児童生徒の発言傾向やデジタルドリルの利用履歴などを、テキストマイニングをはじめとする 30 種類以上のパターンで分析・深堀することで、出席日数など従来の校務系データだけでは見落とされていた潜在的な不登校リスクを早期に発見することが可能となります。

２． 多面的なデータに基づいた不登校予兆検知モデルの構築

ヨリソルでは、蓄積された様々な教育データ及び HR（Human Resource）分野で培った豊富なアセスメントノウハウをもとに、不登校予兆モデルを構築しました。

定期配信される子どもアセスメントでは、回答状況に応じて、家庭環境や友人関係など、より詳細な情報を取得するための追加質問を配信するなど、きめ細かい対応が可能となっています。児童生徒自身の状況に加え、周囲の関係者の回答を分析することで、多角的な視点から不登校の兆候を捉えることができます。

３． 教職員の業務負担軽減と組織的な対応体制の構築

ヨリソルでは不登校予兆のある児童生徒の自動抽出やアラート機能に加え、専門家のナレッジとヨリソルの教育ダッシュボードを組み合わせ、学校/家庭/各関連機関の取るべき対応を学校向けにサジェストするなど、教職員の業務負担を軽減する機能を実装しています。また、教職員評価機能をはじめ、組織変更や人事異動における影響度を可視化する異動シミュレーション機能や教職員の残業時間から過重労働者を抽出するタレントマネジメント機能などをオール・インワンで提供することで、教職員の長期的なキャリア形成をサポートいたします。

■統合型スクールマネジメントシステム「ヨリソル」について

ヨリソル（https://yorisoar.com/）は、教育データの見える化から志願者管理、成績、学習記録、出欠、LMS、授業評価アンケート、退学・不登校の予兆検出まで、教育機関に必要な機能をワンプラットフォームに集約。散在する教育データをひとつにつなげ、あらゆる角度でのデータ分析・活用を実現します。

お問合せは以下より。関連資料のご提供、デモ紹介のご案内をさせていただきます。

https://forms.yorisoar.com/cre/?enq=gON33PBY7dU%3D

■株式会社プラスアルファ・コンサルティングについて
株式会社プラスアルファ・コンサルティング（https://www.pa-consul.co.jp/）は『あらゆる情報から付加価値を生み出し続ける、見える化プラットフォーム企業』として、2006 年の設立以来、顧客の声や顧客データ/購買データ、人事情報のようなビッグデータを「見える化」し気づきを与える力を持つ、「テキストマイニング」や「データマイニング」などの技術を核としたクラウドソリューション事業を行っています。様々な情報を「見える化」することで、お客様のビジネスに＋α（プラスアルファ）の価値を創造するためのソフトウェアの開発・販売、コンサルティング、新規事業創出を行っています。

<プレスリリースに関するお問合せ>
株式会社プラスアルファ・コンサルティング
統合型スクールマネジメントシステム「ヨリソル」
担当：教育 DX・マーケティンググループ
代表番号：03-6263-9315 E メール：yorisoar-info@pa-consul.co.jp
お問合せフォーム：https://forms.yorisoar.com/cre/?enq=gON33PBY7dU%3d